

## ～1月のおすすめ図書～



### 『食卓と家族—家族団らんの歴史の変遷—』表真美著

毎朝家族揃って同じものを食べている家庭は100軒のうち一軒など、近年、こどもの「個室」や「孤食」が問題視されています。しかし、そもそも一つの食卓を囲んで会話が弾む家族団らんなは、戦前には一般的ではありませんでした。本書では食卓がいかにかに国家に利用されながら変遷してきたのか、食卓の意味を明治期から現代までメディアや教育の言説からたんねんに分析し、これからの食と家族のありかたを探っています。近代日本のジェンダーを「食」を切り口にしてみています。



### 『ぼくらのなまえはぐりとぐら —絵本「ぐりとぐら」のすべて—』福音館書店母の友編集部編

1963年に出版されて以来、多くの人に愛されてきた『ぐりとぐら』。お姉さんの中川さんが文章を、妹の山脇（大村）さんが絵を担当し、姉妹で作ったということをご存知でしょうか。ぐりとぐらの制作背景、登場人物たちの紹介、絵本に出てくるカスタラやキッシュのレシピ、フェルトや折り紙での作り方などが紹介された、なつかしい思い出と新しい情報にわくわくする一冊です。読者が独自に作った歌や数か国語の朗読が、付属のCDに収められています。



### 『震災婚』白河桃子

東日本大震災後、あなたのライフスタイルは変わりましたか？震災は甚大な目に見える被害だけでなく、多くの人々の価値観に大きな影響を与えました。震災婚、震災離婚、震災恋愛、震災ベビーラッシュ…。多くの取材とデータを元に、女性たちの生の声とその変化をルポで追いかけてながら、震災が日本人の心に与えた影響を考える興味深い一冊です。



## 新着図書のご案内



著者名	書名	著者名	書名
現代思想	現代思想 2011年12月臨時増刊号 総特集 上野千鶴子	男性介護者と支援者の全国ネットワーク	男性介護者100万人のメッセージ 第2集
福音館書店母の友編集部	ぼくらのなまえはぐりとぐら —えほんぐりとぐらのすべて—	松本ぷりっつ	笑う介護
ポーラ&ジェレミー・カプラン	認知や行動に性差はあるのか —科学的研究を批判的に読み解く—	井谷恵子	目で見える女性スポーツ白書
野依智子	近代筑豊炭鉱における女性労働と家族	大山七穂	地域社会における女性と政治
黄齡萱	台湾女性研究の挑戦	白河桃子	震災婚
堅田香緒里	ベーシックインカムとジェンダー	沼田まほかる	ユリゴコロ
安田まゆみ	月5万円ムリなく貯めるシンプルな生き方	大倉テル子	大倉テル子探偵小説選
岡田舞子	クレーンガール	絲山秋子	ラジ&ピース
猪口邦子	くにこism	吉川景都	お疲れさまです！
高井昌史、谷本奈穂	メディア文化を社会学する —歴史・ジェンダー・ナショナルリティー—	鳥野しの	オハノホロホロ 3巻
小林美希	ルポ職場流産	あまのせつこ	カリンのあたらしいうち
桂あやめ	桂あやめの艶姿ナニワ娘	マリー・ブレア	わたしはとべる
表真美	食卓と家族—家族団らんの歴史の変遷—	アンドリュウ・ダッド	おやすみ、ぼく
東京女子大学女性学研究所	女性と美の比較文化	グロー・ダーレ	パパと怒り鬼—話してごらん、だれかに—

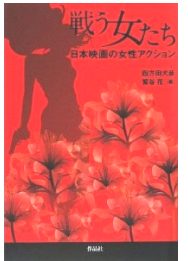
# 映画とジェンダー特集

リーブラでは2月3日（金）に「著者が語る講座」池川玲子さんが語る『「帝国」の映画監督 坂根田鶴子—『開拓の花嫁』・一九四三年・満映』を行います。映画とジェンダーというテーマには、映画の中で女性やジェンダーなどがどのように表象されてきたか、女性／男性監督がどのような映画を作ってきたか、さらに、映画を観る人々がどのように映画を受け止めるかなど、さまざまな問題の立て方があります。今回の図書特集では、様々な視点から「映画とジェンダー」に関する、リーブラ所蔵の本をご紹介します。



## 『男たちの絆、アジア映画—ホモソーシャルな欲望—』四方田犬彦、斉藤綾子編

明治学院大学文学部芸術学科で、2002年6月に開催された国際シンポジウム「東アジア映画とホモソーシャルリティ」をもとにした映画論。日本の日活アクション、東映任侠映画や中国、香港、韓国のアクション映画など、男性の強い絆が描かれた作品を、ホモソーシャルリティという概念を提唱した、イギリス文学者セジウィックの理論的枠組みに依拠して分析。セジウィックの立つ西洋とは異なる東アジア各国のそれぞれの文化的背景の差異が織り込まれ、問題の深層があぶりだされており、読み応え十分です。



## 『戦う女たち—日本映画の女性アクション—』四方田犬彦、鷺谷花編

日本映画の女性アクションを切り口に、女性表象にひそむジェンダーコードを分析した論集。時代劇でヒーロー役を演じる男装の美空ひばりが、なぜ爽快なのか。『緋牡丹お竜』シリーズの女任侠・藤純子の殺陣が、艶やかでかっこいいのは、なぜか。本書でその謎が解けます。アクション映画には〈清浄無垢な処女〉、〈男役を演じる男装の処女〉、〈毒婦・悪女〉というステレオタイプがあり、〈戦う女〉像は「アクションヒーローは男性である」という規範との格闘でした。強いジェンダーコードにからめとられながらも、女性のアクティブな身体性がクローズアップされることで、〈戦う女たち〉が固定的イメージを攪乱していく過程も見所です。



## 『ハリウッド100年のアラブ—魔法のランプからテロリストまで—』村上由見子著

ハリウッド映画100年の歴史の中で、アラブ人やアラブ諸国の状況、イスラーム教徒がどのように描かれてきたのか、また映画の背景にある政治状況がどのようなものであったのかを明らかにした一冊。聖書やアラビアン・ナイト、十字軍の物語から、冷戦構造や現代の世界状況を反映した映画まで、多種多様な「アラブ」像には、アメリカの解釈や偏見、願望、戦略が意識的・無意識的に込められています。ハリウッド映画に親しんできた日本社会の「アラブ」像を振り返ることができます。



## 『女が映画を作るとき』浜野佐知著

ピンク映画300本。30年以上にわたって、日本のセクシュアリティの現実と向き合ってきた女監督の現場での様々な苦勞、セクハラやいじめに耐え、ついに自分のプロダクションを開く。男社会で抑圧されてきたテーマと真っ向から取り組み、女性監督として逆風に負けず道を切り開いていく半生を知ることのできる一冊。浜野監督による映画『尾崎翠を探して第七官界彷徨』『百合祭』のVHSもリーブラ図書資料室に所蔵されています。

## リーブラ図書資料室のご案内

- 図書館システム導入により、港区内の図書館資料の貸出・返却ができます。
- 図書資料室では、男女平等・ジェンダー関連の図書資料（絵本・図書・ビデオ・DVD・行政資料など）を、幅広く収集しています。
- 一回に10冊まで貸し出し可能です。
- 利用登録が可能な方：東京23区在住・在勤の方（証明書が必要です）。
- 開館時間 月曜～土曜 9時から20時まで  
日曜 9時から16時まで  
※リーブラ貸室業務の時間とは異なります。

